

科 目 名	生物基礎	普通科必修 1年次・2単位
目 標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
位 置 づ け	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するた めに必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすることが大切です。	

■使用する教材

- ・教科書
- ・問題集
- ・プリント
- ・
- ・

■学習する単元とおおよその時期

- ・第1章 生物の特徴【4～5月】
- ・第2章 遺伝子とその働き【6～9月】
- ・第3章 ヒトのからだの調節【10～12月】
- ・第4章 植生と遷移【1～2月】
- ・第5章 生態系とその保全【3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・授業は基本的に教科書に沿って進めるので、予め教科書を読んでおくことと授業時の理解度は上がる。
- ・復習は必ず行い、自分自身でオリジナルの復習ノートを作成し、問題演習を行うことで内容の定着を図りましょう。ノートは考査後に確認します。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・授業内容を理解し、自分の言葉で説明することができる。 ・実験や観察を手順通りに行うことができ、各手順や試薬等の役割を理解している。	・教科書の問や授業時の教員の発問に対し、推測⇒考察すること で自身の考えをまとめ、周囲と共有し、考えを深化させることができる。	・予習⇒授業⇒復習の中で、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。
	B ・授業内容を理解している。 ・実験や観察を手順通りに行うことができる。	・教科書の問や授業時の教員の発問に対し、推測し、周囲と共有することができる。	・学びを振り返り、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト、小テスト 課題(レポート)の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題、ノートの提出状況

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化 のみ）

単元名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠ のみ）

単元名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください